

と云ふはがよる

七

宣言 朝讀発表の体

平野 曲豊

(一九一四)

別紙宣言を朗讀し、議長は(田方清臣)

之を朗讀し、議長は(田方清臣) 分則各處の例あり

の例あり、と叫ぶ、議長は(田方清臣) 許さるる例あり

横暴を叫ぶ、地方大衆党例又之に對峙

して、隱微なる雲圍氣満場を感ずる。

かゝる議場を混乱收斂する可成困難に到り

議長休職を乞ふ。

休職

休職

千名四時十分

△休職中

此事議案甚多、為め各處の備は不足を感ずる

也

同大分、秋の選挙は、時局の對策、協賛を要する。

同場内は、怒声、喝倒、強辯、一平一歌、さへは

革命、歌、等の、高唱あり、強然、推然

同階上、傍聴、席、あり

次の如き、叫ぶ、を、擧ぐ、る。

u. 21.